



1972 . 7 . 5

第405回 例会

1972~1973 第1号



深瀬鴻一郎会員

Lets take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

会長・幹事・各委員長就任挨拶

第404回 例会記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長
- ◎斉 唱 手に手つないで
- ◎ビジター 大阪阪南R.C. 古藪 盛三君 (電気器具)
- 北見西R.C. 中川 孝一君
- 函館R.C. 建部 直文君 他8名
- 函館東R.C. 林 新五郎君 他2名
- 函館五R.C. 関 勝吉君 他3名
- ◎船矢健喜智会長退任挨拶

本日をもちまして私の司会は終りになります。誠に感無量の極みであります。

考えて見ますと、7年間という長い当クラブの伝統の流れが出来まして、私はその流れに浮び流された一本の丸太棒であった様な気が致します。ただ流されて来ましたが予定のコースを流されてとどいたという事は各メンバーの御努力によるものと深く感謝して居る次第であります。あらためて皆様に御礼を申し上げる次第であります。

殊に亀田クラブの誕生の為、当クラブの会員増強に御努力下さいました会員の方々は深く感謝の意を表します。又、当クラブには毎例回毎に沢山のビジターの方々がおとづれまして、これも例会を楽しくする事が出来たものと厚く御礼申し上げる次第でございます。私自身、歴代の会長といささかかわった点を申し上げますと、就任の挨拶をする場所と、退任の挨拶をする場所が違うという事です。又亀田クラブ創立の為、当クラブ会員数名が移籍し、淋しい思いをした事もその一つであり、又私任中に出席率100%を達成出来た事も変わった事の一つと申す事が出来ると思います。

以上様々の思い出を残して私の会長退任の挨拶と致します。

◎幹事報告

- 1、去る24・25日苫小牧に於いて地区協議会が開催されました。各部門別に新委員長の方々は熱心に勉力して来られましたものと考えます。新年度の御活躍を期待致します。
- 2、先週の特別例会の折申し上げましたが、ロータリーの全国名簿が近いうちに出来上がりますので、御入用の方は幹事迄御申し込み下さい。
- 3、本日例会終了後理事会を開催致します。

◎ニコニコボックス

- 1、船矢会長：無事会長の任を終えた事を記念して。
- 2、高杉幹事：無事幹事の役を終えた事を記念して。
- 3、山田会員：日本セメント上磯工場増築を記念して。
- 4、小村会員：例会欠席のおわびとして。
- 5、深瀬会員：親睦活動委員長を無事終了の事を感謝して。

★各委員長退任挨拶

☆市川クラブ奉仕委員長：先ず各委員長に感謝の御礼を申し上げます。今年クラブ奉仕の面で特に皆様に申し上げたい事は、親睦活動委員会の活動の目ざましかった事であり、それと共に職業分類、会員増強委員会の方々の活動に関して厚く御礼申し上げます。

大過なく1年を過ぎさせていただきました事を御礼申し上げまして挨拶と致します。

☆宮崎出席委員長：1年間いろいろ御世話になりまして有難うございました。はじめてのうち出席率は大変良かったのでありますが、途中いささか下降気味となり最後に又100%に達した様な次第であります。私としては当初の予定成績が出たのではないかと感じて居ります。

☆深瀬親睦活動委員長：此の一年間、皆様の御協力により親睦の実をあげ得た事を深く感謝申し上げます。私かねがね考えて居りますが、ロータリーのクラブ奉仕として出席、親睦、プログラムの三本柱が大事であると考えて居ります。此の点今年はいまういったものと考えて居ります。一年間の御協力ありがとうございました。

☆戸栗会員せん考委員長：新会員がかなりふえた事をほこりに思っています。

☆下郡山会員増強委員長：今誰かが申しました様に、何にもしなかったのです。しかし結

果としては会員が沢山増加して参ったという事は、皆様が会員増強という事に意をそがれたという事で誠に有難く以って銘すべしという心境であります。

☆青柳プログラム委員長：一年間大変ありがとうございました。50数回にわたるプログラムを無事本日をもって終らしていただいたわけですが、途中不手際もありましてヒヤヒヤさせた事もございましたが、その点は会員の皆様がうめて下さいました。誠に感謝に耐えない次第であります。どうもありがとうございました。

☆柴田会報委員長：此の一年間、実は通算2年間一生懸命書いたつもりではありますが、出来たものは皆様御承知の様に非常にはづかしいものに止まりました。誤字、脱字或いは誤植そして余白と、ふりかえって見てざんきの極みであります。前半は私一人で書いた様な次第でありましたが、後半は委員の方も増していただき、交替で書きついたのでありまして、次年度は吉井委員長のもとに素晴らしい会報が出来るものと期待して居ります。とに角後半に至って楽をした委員長でありました。

☆神原職業分類委員長：就任はじめ、ただ分類すれば良いだろうぐらいに考えて居りましたところ、非常にやっかいな仕事である事に気が付き、分類表など作り苦勞致しました。

当時45名の会員でありましたが、現在は51名になって居ります。その間皆様の御努力によりまして会員の数も増強され、一覧表も不備のまま残りましたが、後任の委員長が整備して下さる事になって居りますので安心して居ります。どうもありがとうございました。

☆青柳社会奉仕委員長：二兎を追う者は一兎をも得ず、という諺がありますが、それは人柄による事と思いますが、私の場合は一人二役という事は非常に重荷でありまして、充分な事と申しますよりは何も出来なかったという結果に終わってしまいました。しかし前会の例会をかねて計画した洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕の計画、又市川会長を長とした無医村の歯科検診、又市内四クラブ合同の行事等曲りなりにも事を行なったつもりであります。御協力を感謝致します。

☆小林インターアクト委員長：インターアクトクラブと申しまして皆様よく理解して居らないと思います。私自身任命され全くわからず困った次第でした。前任者に聞きましたところ、東クラブの光銭さんにおんぶして居れば良いとの事でほっとしたのでありますが、実は本年度は北クラブがおんぶしなければならない立場になって居ったのであります。とに角なんとかなるだろうという事で出発したのでありますが、地区大会が室蘭で行なわれた折、アドバイザーの命令が来てしまったのであります。あわてて資料その他を探しましたが結局は間にあわず、まあ副アドバイザーなら何にも云わなくても良いだろう位の気持ちででかけました。ところが私の出た部門のリーダーが非常に礼儀をわきまえた方であったと見えて、副アドバイザーにも発言させなければと思われたのでしよう、とに角発言を指令されてしまったのです。一応常識にもとづいた発言をしたのでありますが、正しかったかどうか未だに疑問に思っている次第であります。

☆野村職業奉仕委員長：いつも苦勞する事は職業奉仕と社会奉仕との区別が判然としないという事でした。先ず第一に行った事は函館工業高校に於いて社会に単立つ卒業生に対して、我々明治人間が社会に於ける苦勞談などを話して参りました。次に先週社会奉仕の方で七重浜の洞爺丸慰霊碑の清掃を行なう計画でしたが、折悪しく雨に見舞われ急ぎ

よ上磯町のセメント工場で例会が行なわれる事になり、工場見学という事に変更になりまして、期せずして職業奉仕の仕事が出来る事になりました。次の委員長もどうか社会奉仕の方と緊密な連絡をとられた方がよろしいと思います。

☆遠藤国際奉仕委員長：私の場合、仕事の運営は市内の先輩クラブがすべて御膳立てをしてくれた上で行なわれ手ぬらずして委員長の責を果たした様な結果となりました。来年は有能な山田会員が委員長になられますので、立派な国際奉仕活動が出来るものと期待致して居ります。

☆山崎会計幹事：今年の3月、前任の福田幹事の後をついで今日まで約4ヶ月、短期間の故もありますが、とり立てて行った事もなかった事を先ずおわび申し上げます。只今正確な計算はまだ出来て居りませんが、目下のところ黒字会計で次年度に繰り越し出来る見込みであると思います。おって正確な数字を御報告申し上げます。

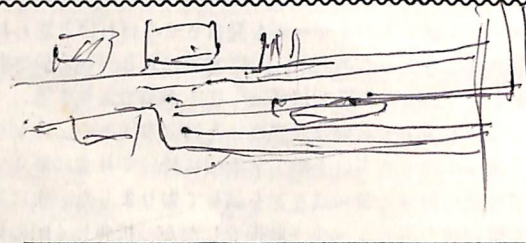
★新R.I. 会長 (Roy D. Hickman) の横顔

1972-73年度R.I. 会長ロイD・ヒックマン氏は、1935年以來のロータリアンで、米国アラバマ州バーミングハムR.C. 会長、第686地区ガバナー、R.I. の委員長はもとよりR.I. 理事 (1954-55、1972-73年度) 同第三副会長 (1955-56年度) を歴任されたベテランです。同氏はニューメキシコ大学の出身で、グラフィア、オフセット印刷関係の会社を経営し、バーミングハムでは商工会議所会頭の他、経営者団体の会長を歴任、アメリカ合衆国結核予防協合理事、救世軍顧問など社会的事業にも副広い活躍をされています。(ガバナー月信 第1信より)

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 6. 28	51名	41名	10名		
47. 6. 21	51名	26名	25名	22名	94.12%
在函クラブ	(6/15) 函館R.C. 88.00%	(6/20) 函館東R.C. 97.65%	(6/16) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 7月12日
プログラム 「未定」



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所 例会場 函館市大手町 5-10
電話 (0138) 23-3870 国際ホテル
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1972. 7. 12

1972-1973 第2号

第406回例会



R.K

ハバロフスク、アムール川を望む

角谷隆一 会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「函館財界の四方山活」

函館商工会議所会頭 田中 誠一郎氏

第405回例会記録

- 司 会 市川芳夫会長
- ビジター 大垣西R.C. 久保寺善一君
- 函館R.C. 川守田完三君 他6名
- 函館東R.C. 佐々木啓三君 他4名
- 函館五R.C. 五十嵐匡俊君 他4名
- 亀田R.C. 三谷 勇平君 他1名
- 齊 唱 君が我・奉仕の理想

●幹事報告

- 1、本日例会終了後本年度第1回理事会を開催致します。
- 2、去る6月24・25日苫小牧に於いて地区協議会が開催されました。当クラブからは6名の方が出席され、熱心に勉強して来られ、新年度のご活躍を期待致します。尚、詳しくはアッセンブリーの際にご報告いただきたいと思います。